

熊本県立高等学校・中学校における臨時休業期間の長期化を見据えた学習支援に関する基本方針

基本方針

臨時休業期間において、各学校は教育課程に基づいて教科等のシラバス（授業計画）を再構築し、計画的な学習支援を講じるとともに、学習状況や成果等を把握し、学習評価を行う。

取り組むべき事項

県立高等学校・中学校



- 臨時休業期間の長期化を見据えた特別時間割の作成。
- 自校の教育課程に基づいたシラバスの見直し。
（課題、解説等の動画配信、オンライン授業等の活用）
- 学習状況や成果等を踏まえた学習評価規準の作成及びシラバスへの位置づけ。
- シラバスに基づいた課題、解説等の動画、オンライン授業等の準備と実施。
- 生徒・保護者への自校の学習方針や学習計画の周知。
- 登校日やＩＣＴを活用して、学習状況や成果等を把握し、授業計画に基づいた学習評価を実施。
- ※生徒とのコミュニケーションや動画配信で活用するソフトの精選及びセキュリティ対策。
- ※解説等の動画、オンライン授業等の環境が整っていない生徒への対応（家庭でDVD視聴、学校のパソコンで対応）

生徒・保護者

- 学校の学習方針及び学習計画に沿った学習の実施と保護者による支援。

熊本県教育委員会

- 授業を補完するものとして、課題に加えて、解説等の動画配信、オンライン授業の導入の支援。
- 各校における動画配信、オンライン授業やそれらと連動した課題、学習評価等を取り入れたシラバス（授業計画）のモデルの提示。